

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・円高が続く限り、海外からの仕入価格が下がるため、低価格での販売が可能になる。
		百貨店（営業担当）	・円高で輸入ブランド品の値下げが進めば、富裕客による高額品の購入が更に増える。
		スーパー（店長）	・来客数が安定しているため、販売促進策の強化などの販売努力により、今よりも良くなる。
		スーパー（社員）	・競合店の出店があった地域は苦戦が続いているが、多くの店舗では売上が増える傾向にある。前年の後半以降はこの傾向に大きな変化がないため、しばらく消費は堅調に推移する。
		コンビニ（経営者）	・ビルの新築工事が始まれば工事関係者の来客が増えるほか、近隣のオフィスビルの入居率も下げ止まってきた感があるため、今後は良くなっていく。
		コンビニ（経営者）	・近隣のマンションの完成で購買人口も増えるため、販売の増加につながる。
		家電量販店（経営者）	・消費者の節電志向が強まり、省エネ家電の販売が伸びているほか、太陽光発電の動きも活発化しているため、先行きは良くなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・既存の販売車種の売行きは前年の8割程度に悪化しているが、新型車の販売効果などで先行きは良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・徐々に売行きも良くなっているため、先行きの見通しは良い。
		高級レストラン（支配人）	・急激な冷え込みで観光客は少ないが、外国人観光客は徐々に増えつつあるため、春のシーズンに向けて来客数は例年並みに増える。
		一般レストラン（経営者）	・現在進めているプロジェクトが軌道に乗るため、先行きは良くなる。
		観光型ホテル（経営者）	・大雪によるキャンセルなど、天候の大きな影響を受けているが、2～3か月先の予約件数は今よりも多いため、先行きはやや良くなる。
		観光型旅館（経営者）	・前年の台風による国道の通行規制で京阪神からの客が減っていたが、復旧工事が進み、4月以降に仮設道路ができるため、来客数は増加に向かう。
	観光型旅館（団体役員）	・街全体で進めてきた緊急経済対策により、春ごろには個人客を中心に効果が出てくる。	
	通信会社（社員）	・このまま販売量の増加が続けば、全体的な状況が良くなる。	
	住宅販売会社（経営者）	・今月の好調は根本的な景気回復によるものではないため、その後の急低下が懸念されるが、しばらくは忙しくなる。	
	その他住宅[情報誌]（編集者）	・長引く節約や儉約疲れから高額品の売行きが良くなっているため、日常的な消費も良くなっていく感がある。	
	変わらない	商店街（代表者）	・先週ごろから雨などで寒い日が続く、早い時間に客足が減る傾向となっている。来月以降もこの動きが続く予想であり、見通しは良くない。
		一般小売店[衣服]（経営者）	・冬物衣料の最終処分セールでは、低めの気温が続くなど条件はそろっているが、客があまり欲しがらない状況が続く。
		一般小売店[鮮魚]（営業担当）	・好材料も見当たらないため、大きな変化はない。
一般小売店[精肉]（管理担当）		・生活必需品の節約志向が進む一方、特別なときにはご馳走を食べる傾向は強まっているが、外食や内食、中食を巻き込んだ競争が激しくなっているため、先行きの見通しは厳しい。	
一般小売店[衣服]（経営者）		・今の状況で推移していくため、大きな変化はない。	
一般小売店[花]（店長）		・まだまだ回復は見込めないため、先行きの見通しは厳しい。	
一般小売店[花]（店員）		・増税などで明るい話題もなく、客の購買意欲はますます低下するため、節約を意識した動きが続く。	
一般小売店[酒]（店員）		・来店数、客単価が12月に比べて大きく悪化するのとは例年どおりであるが、前年よりも更に苦戦している。いつも利用のある法人客の大口受注も今年はなく、平均単価は2,000～2,500円にとどまっている。地元密着型の店舗であるため、特別な行事やイベントがない限り、単価の上昇は困難である。	
百貨店（売場主任）		・国内だけでなく、海外を含めた景気の後退が懸念される。所得の増加が期待できない以上、売上が上向く要素は乏しい。自店の営業努力だけでは限界があり、劇的な外的要因の変化がない限り、好転することは難しい。	

百貨店（売場主任）	・増税や円高、少子高齢化、人口減少、地震予測などがメディアで取り上げられ、景気回復につながる明るい話題がない。また、3月は前年の東日本大震災の影響もあり、婚礼といったお祝い関連の消費が減少する。
百貨店（売場主任）	・まだ寒い時期から春物の新作を購入するような、先行消費型の客が少なくなっている。先行きが不透明で、慎重になっている感があるため、今後も厳しい状況となる。
百貨店（企画担当）	・消費税率の引上げ議論や円高など、回復に水を差す要素が目立つため、今後も厳しい状況となる。
百貨店（企画担当）	・客の動きをみていると、クリスマスやバレンタインなどのイベント時は少しぜいたくをするが、普段は相変わらず財布のひもが固い。消費の使い分けをする傾向がみられるため、先行きも大きな変化はない。
百貨店（営業担当）	・一部の上位顧客からは、高級ブランドのバッグや時計の新作品への引き合いがみられるが、全体としては現在の状況が続く。
百貨店（サービス担当）	・バレンタインチョコレートの予約販売は例年並みであるが、春商戦に向けて話題の商品も少ないため、今後来客数の減少傾向には歯止めがかからない。
百貨店（販促担当）	・今後も冷え込みが厳しくなる予想であり、欧州の信用不安や国内情勢も安定しないため、今以上に購買行動が慎重になる。ギフト需要の間際化も進んでいるため、今後も苦戦が予想される。この時期は気候の変化によって売上や来客数に大きな影響が出るため、冷え込みが厳しくなれば更に悪化することになる。
百貨店（婦人服）	・増税不安から消費マインドが悪化し、節約傾向が強まっているため、今後も一進一退の状態が続く。また、3月以降は出店や増床の動きが一巡するため、客の取り合いが一段と激しくなる。
スーパー（店長）	・消費マインドが高まる要素は少なく、今後も地上デジタル放送への完全移行後の薄型テレビの落ち込みが、売上の大きな圧迫要因になる。
スーパー（店長）	・天候不順の影響で野菜価格が上がり、鍋物関連商材の販売が不振となっている。牛肉やカニの販売量も、前年比で約15%減少しているため、先行きの見通しも良くない。消費税率の引上げ問題で客の購買意欲が下がっており、少し高額な商品の売行きが鈍化しつつあることも、先行きに影を落としている。
スーパー（経理担当）	・気温が例年よりも低めとなるため、衣料品を中心に冬物商材の売行きは好調となるが、あまりに長引くと春物商戦に悪影響が出る。気温が上がってくる春以降については、依然として不透明感が強い。
スーパー（販売担当）	・客は、広告の初日やポイントサービスなど、各店舗の販売促進の内容を比べながら買い回る傾向にある。固定客による売上がなかなか確保できないため、今後も厳しい状況が続く。
コンビニ（広告担当）	・社会保障や税制の方向性が決まっても、実現するまでには時間がかかるため、今後2～3か月で大きな変化はない。
乗用車販売店（経営者）	・エコカー補助金も延長になる見通しであり、大きな変化はない。
乗用車販売店（経営者）	・基本的な売上は変わらないが、今後は税制面での優遇もあるため、年度末に向けて販売量が増える。
乗用車販売店（経営者）	・2～3か月先の車検の予約や、新車の購入予定が少ない状況であるため、今後もあまり良くならない。
乗用車販売店（営業担当）	・エコカー補助金による効果はもうしばらく続く。エコカー減税と補助金によって購入の検討を前倒しする客が増えるため、一時的ではあるが良い状態が続く。
住関連専門店（店長）	・売上は米国の大手金融機関が破たんする前の水準には戻っておらず、経済全体が上向いている感もないため、先行きの見通しは良くない。
その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・春商戦に向けた準備も、在庫が動かなければ進められない。
一般レストラン（経営者）	・消費税や年金の問題などで先行きの不透明感が強いいため、消費が回復基調に戻ることはない。
一般レストラン（スタッフ）	・東日本大震災の復興状況や増税の動きを含めて、先行き是不透明である。
一般レストラン（店員）	・消費税率の引上げの動きもあり、プラスとなる材料が見当たらない。
一般レストラン（経理担当）	・増税などで様々な負担が増えるという議論が進むため、今後は景気が大きく上昇することはない。

その他飲食 [コーヒーショップ] (店長)	・400円前後の新商品を発売しても、1週間程度で低単価商品に入れ替えねばならない状態である。先行きが不透明ななか、客の財布のひもは固いままであるため、見通しは厳しい。
その他飲食 [ファーストフード] (店員)	・来客数や1品単価は落ち込んでいるが、販売量や売上は今後も前年並みで推移する。
観光型ホテル (経営者)	・供給過多の状況が慢性化している影響か、先の予約状況をもて、良い日と悪い日の差が極端になっているため、全体としては厳しい状況が続く。
都市型ホテル (マネージャー)	・宴会部門の3~4月までの法人客の予約状況は芳しくなく、今後も厳しい状況が続く。宿泊部門では、花見の時期には外国人観光客が増えるものの、継続的に増加するかどうかは不透明である。また、宿泊・宴会共に、法人客の動きが上向き気配はない。
都市型ホテル (客室担当)	・円高の影響で、国内旅行よりも海外旅行の魅力が高まっている。消費税率の引上げ議論による先行き不安から、客は国内旅行の価格に敏感となっているため、今後も厳しい状況となる。
旅行代理店 (経営者)	・円高の継続で海外旅行は好調となるが、経済の閉そく感もあって国内旅行の不調は続く。
旅行代理店 (広報担当)	・今年の2、3月は前年のような3連休がないため、旅行に行く機会が減る。円高の影響も、当初は旅行業界にプラスの部分が多かったが、最近では仕事面への悪影響などから、客の動きが鈍くなっている。さらに、燃油サーチャージの高騰も客の旅行マインドの悪化につながる。
観光名所 (経理担当)	・これまでと同様に、苦しい予算のなかで対策を行っても来場状況は良くならないため、先行きの見通しは厳しい。
競艇場 (職員)	・景気改善の動きもみられないなか、購買単価や入場者数が上向きことはないが、これ以上悪くなることもない。
その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・プロ野球のシーズンが開幕し、今年は公式戦が3試合あるほか、人気グループによるコンサートも開催されるため、多くの来場者が訪れる。
その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設] (企画担当)	・不透明な材料が多過ぎて判断は難しいが、明るい材料が見当たらない。
その他サービス [コインランドリー] (経営者)	・新規顧客を獲得する具体策もないため、来客数は頭打ちとなる。
その他サービス [学習塾] (経営者)	・2月に無料体験キャンペーンを行うため、その結果次第で生徒数に動きが出る。
その他サービス [生命保険] (営業担当)	・依然として景気の先行きが不透明なため、生命保険の加入を検討する客は伸びない。
住宅販売会社 (経営者)	・特に大きな材料はないが、消費税率の引上げ問題もあるなど、長期的に上向き要素はない。
住宅販売会社 (総務担当)	・消費税率引上げの動きに伴い、様子見となる客が増えているため、先行きの見通しは良くない。
その他住宅 [展示場] (従業員)	・新築住宅市場は少子高齢化と人口減少で縮小が進んでいるため、政策による後押しがなければ需要の喚起は望めない。
やや悪くなる	
商店街 (代表者)	・消費税率や年金保険料の引上げの話もあるため、売上の減少につながる。
一般小売店 [時計] (経営者)	・年配客からは年金への不安の声が増え、2万円以上の商品を買えないという声も聞かれる。将来への安心感がなければお金を使わないため、先行きには不安がある。
百貨店 (売場主任)	・消費税をはじめとする税負担の増大や、年金などの将来不安が高まっているため、客の財布のひもは更に固くなる。
百貨店 (マネージャー)	・家具などの大型商材や、宝飾品、美術品といった高額商材のほか、服飾品の動きも芳しくなく、今後良くなる材料も見当たらない。
百貨店 (売場担当)	・気温の低下にもかかわらず、季節商材のコートの売上が前年を下回っていることから、春物商材の売上にも期待できない。また、円高で高級ブランド品を海外で購入する客が増えるため、売上は増えにくくなる。
スーパー (経営者)	・天候が悪く、生鮮品の価格が上がりやすいため、今後も消費は伸びない。
スーパー (店長)	・年金や税に関する不安が高まっているほか、年末年始の出費の反動もあり、買い控えの傾向が強まる。
スーパー (企画担当)	・前年を下回る傾向が続いているため、今後も悪化の動きが進む。
スーパー (開発担当)	・賃金の上昇が見込めないなか、節約指向が強まっていく。原油価格の高騰が見込まれるため、消費の冷え込みは避けられない。

		コンビニ（店長）	・増税や社会保障に対する不安から、禁煙などの節約に向けた動きが増える。
		コンビニ（店員）	・来月には当店の数百メートル先に競合店がオープンするため、来客数、販売量共に減少する。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・客の間で買い控えの雰囲気が強まっているため、先行きは悪くなる。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・消費税率の引上げが決まれば、一時的な駆け込み需要を除いて、消費は更に冷え込む。
		一般レストラン（経営者）	・外食や出費を控える傾向が進むため、単価を下げても来客数が増える余地は少ない。
		都市型ホテル（支配人）	・消費税率引上げの動きがあるなど、景気は当分良くなるらない。
		都市型ホテル（総務担当）	・法人の宴会や、レストランの利用では、3月までの予約が大きく減少している。
		通信会社（企画担当）	・消費税率引上げによる購買力の低下などで、先行きは悪くなる。
		テーマパーク（職員）	・春の観光シーズンに向けて、新たなアトラクションも準備しているが、周辺では水族館のオープンが予定されている。これで相乗効果が生まれるのか、競合施設となるのかの判断は難しいが、見通しとしては厳しい。
		観光名所（経理担当）	・今月の前半は雪の日の少なく、寒さも厳しくなかったため、来客数は前年並みの水準であったが、後半はかなりの寒さと積雪に見舞われた。メディアで当市の積雪予想量が報道され、来客数の大幅な減少につながったことで、月全体の売上は前年の10%増にとどまっている。今後についても、前年はドラマによる効果で良かった分、全体的に悪くなる。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・来期の不良債権処理に備えて、金融機関が融資を抑えてくるため、先行きは厳しくなる。
	悪くなる	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・増税や年金の減額など、先行きは悪い材料ばかりとなっている。消費を抑えざるを得ない雰囲気が広がっているため、先行きは悪くなる。
		スーパー（企画）	・消費税率引上げ議論の本格化に伴い、すぐに増税となることはないが、消費者の間では将来不安がますます高まっている。今後は、生活防衛意識がより一層強まることになる。
		衣料品専門店（経営者）	・景気の低迷に加えて、大規模店舗の乱立といったマイナスの要素が多く、先行きに明るさがみられない。
		家電量販店（店長）	・エコポイント制度の終了で落ち込んだ需要が回復する兆しはない。特に、テレビやDVDは深刻であり、今年はロンドンオリンピックが開催されるが、前年の単価を上回ることはない。
		スナック（経営者）	・前月の盛り上がり比べて今月は新年会もなく、少人数の客が若干みられる程度であった。2、3月に期待しているが、あまり良くなることはない。
		その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・ダイレクトメールを送ると今までは反応があったが、ほとんどみられなくなっているなど、先行きの見通しは厳しい。
		競輪場（職員）	・例年に比べて状況は悪くなりつつある。春闘はベースアップがないほか、不況感も一層濃くなっているなど、良くなる要素はない。
		美容室（経営者）	・商店街の人の流れが変わり、客足が減ってきている。ついでに商店街に来ることがなくなりつつあるため、これからは厳しくなる。
企業動向関連	良くなる	化学工業（経営者）	・取引先と話をしても、どの業界の雰囲気も明るくなっている。一部の得意先では、2～4月の受注は既に前年の1.5～2倍となっているため、景気は良くなっていく。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・受注量が増加しているため、先行きの見通しは良い。
	やや良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・売上が増加傾向にあり、新規事業の開始も近づいてきたため、先行きはかなり良くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・顧客企業の動きから判断すると、原子力発電からの方向転換のための設備投資が活発になる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・国内市場には期待できないが、東南アジアや日本を除く東アジアの景気は、弱含みとはいえ成長を続けている。当社の海外取引のスキルも上がっているため、業績の改善は可能な状況である。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・新商品の販売方法を改善することで、徐々に販売量が伸びる。
		建設業（経営者）	・再生可能エネルギー特別措置法などの影響もあり、太陽光発電に関する引き合いは今後も増えていく。
		コピーサービス業（店長）	・安価なサービスを大量に利用する傾向があり、客単価の上昇につながっている。今後も利用者数の増加が必要となるが、先行きの見通しは比較的明るい。

	その他非製造業 [民間放送] (従業員)	・ ロンドンオリンピックの開催を見据え、テレビスポット広告の需要が本格的に回復する。
変わらない	食料品製造業 (従業員)	・ 小売店ではプライベートブランドの販売が拡大しているなど、価格を低く抑えれば販売量が増える。当社が受注しているプライベートブランドの出荷も、横ばいから少し増えている。利益は出にくいものの、販売量を増やす手段としての位置づけは変わらない。
	繊維工業 (団体職員)	・ 地域ブランドとしての取組が、当地のタオルの受注につながりつつあるため、今後もこの傾向が続く。
	家具及び木材木製品製造業 (営業担当)	・ 配達量に変化がないため、今後も現在の状況が続く。
	パルプ・紙・紙加工品製造業 (経営者)	・ 受注の増加と減少に関する商談が両方あるため、全体的には現在の状況が続く。
	プラスチック製品製造業 (経営者)	・ 年金や消費税、円高といった不安定要素が多いため、消費者の財布のひもは固くなる。当業界の製品は、生活必需品の次に購入される物が多いため、良くても現状維持である。
	金属製品製造業 (管理担当)	・ 受注量は増えるが、作業効率が悪い影響で、利益の確保は難しい。
	一般機械器具製造業 (営業担当)	・ 既に2～3か月先まで仕事が入っているため、新たな仕事の依頼があれば人員の確保が必要となる。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・ 東日本大震災の復興に伴う需要が増えつつあるため、今後も好調な動きが続く。
	電気機械器具製造業 (企画担当)	・ 戸建住宅やマンションの販売の好調が続いているため、見通しは悪くない。
	電気機械器具製造業 (営業担当)	・ 伸びると予想していた受注が伸び悩んでいるため、先行きは不透明である。
	電気機械器具製造業 (経理担当)	・ 良くなる要素は見当たらないが、多くの取引先からは少し良い話が聞かれる。
	輸送用機械器具製造業 (経理担当)	・ 海外向け部品の受注は上向き傾向にあるが、国内での設備投資は相変わらず停滞しているため、全体としては現在の状況が続く。
	その他製造業 [履物] (団体職員)	・ 一部のメーカーでは、生産の国内回帰の動きもみられるが、全体的に大きな変化にはつながらない。
	建設業 (経営者)	・ 東日本大震災の復興の本格化で、建設資材や職人が不足するほか、賃金の高騰も予想される。公共工事の予算配分も復興事業に集中するため、地方の公共工事の減少が進む。
	輸送業 (営業所長)	・ 欧州の信用不安が落ち着かなければ、航空貨物も増えない。
	通信業 (管理担当)	・ 良くなりそうな気配が全くないため、今後も厳しい状況が続く。
金融業 (営業担当)	・ 公共工事の減少などで厳しい状況となっており、見通しは良くない。製造業の取引先の大半も、今後の見通しをやや悪いか、悪いと考えている。	
新聞販売店 [広告] (店主)	・ 折込広告を入れる範囲を縮小する企業もあり、1件当たりの数量が減りつつある。折込広告収入も横ばいで、上向き気配がない。	
広告代理店 (営業担当)	・ 広告単価が下がっているため、売上も前年水準の確保が精一杯となる。	
経営コンサルタント	・ 今の経済情勢や景気の現状をみると、しばらくは苦しい状況が続く。	
その他非製造業 [機械器具卸] (経営者)	・ これから必要となる設備や物品の見積が芳しくないなど、先行きの見通しは厳しい。	
やや悪くなる	繊維工業 (総務担当)	・ 価格が安くなければ売れないため、今後も客単価の低下が進み、それに伴って利益も減少する。
	繊維工業 (総務担当)	・ 新年を迎えて早速、取引先からは値下げ要求が入ってくるなど、先行きの見通しは厳しい。
	化学工業 (企画担当)	・ 消費の動きが例年と異なるほか、今後の需要拡大につながる要素も見当たらない。
	金属製品製造業 (営業担当)	・ 自動車関連の取引先からは、3月末まではある程度の生産を見込んでいるが、4月以降は全く不透明といった声が聞かれるため、見通しは良くない。
	輸送業 (営業担当)	・ バーゲン時期で通信販売関連の荷物が増えているが、企業間の荷物の減少で利益が減少しているなど、先行きの見通しは厳しい。
	輸送業 (営業担当)	・ 少子化によって学習機の売行きが悪くなるため、見通しは厳しい。
悪くなる	化学工業 (管理担当)	・ 円高の影響で輸出量がかなり減少する。
	金属製品製造業 (経営者)	・ 円高などで、取引先の海外工場では現地調達へのシフトが加速しているため、先行きの見通しは非常に厳しい。
	その他サービス [自動車修理] (経営者)	・ 今後良くなることはなく、維持するだけでも大変である。
雇用	良くなる	-

関連	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・年度末特有の忙しさが出てきており、3月までは今の動きが続くほか、4月以降も東日本大震災の復興需要により好調が続く。
		人材派遣会社（支店長）	・情報通信業界からの案件が徐々に増え始めているなど、底を打った感がある。
		人材派遣会社（営業担当）	・受注の勢いが衰えそうにないなど、先行きの見通しは良い。
		民間職業紹介機関（職員）	・東日本大震災の復興工事に関する求人が徐々に増えている。労働相談窓口でも現場が東北といった話が徐々に始めているため、求人の増加につながる。
		民間職業紹介機関（支社長）	・求人の動きが順調であり、今後もこの調子が続く。
変わらない		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西企業の業績は悪いが、薬品業界が好調であるため、全体的には今のままで推移する。
		職業安定所（職員）	・欧州の信用不安をきっかけにした海外景気の下振れや、急激な円高、節電問題、タイの洪水による影響など、先行きにはプラスの要素が見当たらない。今後、雇用にどのような影響が出るかが懸念される。
		職業安定所（職員）	・産業別にばらつきはあるが、求人が増えている一方、求職者は減少しているため、雇用情勢は回復傾向が続いている。ただし、急激な円高の進行やタイの洪水による影響で、企業の雇用意欲が減退し、求人の提出をちゅうちょする傾向も出てきている。また、今後は電機関連や金融業で大規模な雇用調整が予定されているほか、ゴルフ場や病院の事業廃止も続いているため、雇用情勢にも一部で影響が出てくる。
		職業安定所（職員）	・求人数が減少し、求職者数が高止まりする状態が続いているため、見通しは良くない。
		民間職業紹介機関（大学担当）	・消費税率引上げの話題で持ちきりとなるほか、今後も海外景気の動向に左右されるため、雇用情勢の見通しは良くない。
やや悪くなる		職業安定所（職員）	・年末から県内各地で電気機器メーカーの工場閉鎖が相次いで発表されているため、雇用情勢はやや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・円高や欧州の信用不安などの影響で、生産調整を始めた事業所もあるなど、先行きの見通しは良くない。
悪くなる		-	-